

そよかぜ

題字 小野倉藏

な か べ 学 院
中部少年学院後援会〒750-0081
山口県下関市彦島角倉町
3丁目6番17号

TEL (083) 266-1934

発 行 広 報 部

印 刷

(株) ナカハラプリンテックス
TEL (083) 266-4601

昨年の オレンジリボンたすきリレーin下関 の様子



銀杏は手品師

中部少年学院理事長 石川 啓

角倉小学校の体育館の裏側に四本の銀杏の木があります。今、よく見るとその内の二本に果実が撓わに実っています。もうすぐ黄落といって黄色に色づいた落葉が道路を敷き詰めます。掃除が大変ですが、これも日本の秋の風情のひとつかと思えます。

銀杏の木には、雄と雌とがあつて、今、撓わに果実の実っているのは雌の木なのです。春に新しい葉の出る少し前、枝先に雄花が咲いて花粉を出します。花粉は風に吹かれて遠近に飛んで行きます。この花粉を待ち受けているのが、雌の木の枝端に咲いている雌花、これは裸の卵子なのです。この裸の卵子は頂点に針先で突いたような小さな孔があつて、飛んで来た花粉をその孔にキヤッチするのです。角倉小学校の銀杏は、雄雌隣同士並んでいます。互いに遠く離れていても飛んで来た花粉は見事にキヤッチされるのです。こうして、銀杏は、雌の木の雌花が果実を熟します。これをギンナンといいます。ギンナンは果肉が恐ろしく臭い匂いがします。触れると気触れます。しかし、手間をかけてきれいにすると、殻の色は白色で、光が当たると銀白色に輝いて誠に美しく、しかも、栄養たっぷりの食材となります。炒ったり焼いたりして様々な料理の食材に使われます。茶碗蒸しの具のギンナンは特に有名です。

ところでギンナンは一見果実のように見えますが、実はそうではなく種子なのです。果肉のように見える部分も、殻のように固い部分もすべて種皮で、こうした植物は裸子植物といわれています。銀杏は不思議な植物で、誕生は二億年前といわれ、厳しい自然環境の水河期にも絶滅することなく生き抜き、生きている化石と呼ばれています。日本には平安時代に中国から伝来しましたが、長寿であることもあつて神木として崇められてきました。

葉や枝に水分が多く含まれていることから、耐火性に勝れており火事除けに植えられ、並木や公園樹としても重要で今日ではトップクラスになっています。

参考 牧野富太郎 植物一日題 ちくま学芸文庫

児童虐待防止啓発事業 〈オレンジリボンたすきリレーin下関2017〉

今年度も11月19日(日) 9時から、カモンワーフの舞台をオレンジ会場、船着き場の横をリボン会場とし実施されました。

リレーの部では、唐戸に周回コースを設定し、約150人の方が児童虐待防止のたすきをかけて走り、また、各会場では、ダンスや太鼓、フラスパンドの演奏などがありました。啓発チラシ、オレンジリボンマークの入った風船配布も行いました。ゆるキャラも来て盛り上げてくれ、寒い中、たくさんの方々

初心忘れるべからず

乳児院院長 竹川 智子

昭和五十四年より中部少年学院に保育士として勤務し、この四月より乳児院なかべ学院院長をさせていただいています。新任時代は、昨日まで這うだけだった子どもがつかまり立ちから二歩三歩大地をふみしめて歩き出す...

そんな毎日の小さな変化を見逃さないように緊張し夢にまででてきたことを思い出します。子ども達の成長発達を笑顔で支援する職員と共に、重責ではありますが精一杯努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、乳児院の建物は平成三年に改築大規模修繕にて対応されてきました。しかしながら耐震性の不備、老朽化も激しく、現状では家庭の支援を進めていくことにかぎりがあると感じています。これから施設として一般家庭により近い生活環境の提供と小グループでの養育体制の整備を目的として、オールユニット化のできる新院舎の建替を予定しています。福祉サービスの多様化していく中で今二度原点に立ち返り、安心安全で良質の養育の提供のみならず、乳児院が有する専門性を地域へ還元できるように進めてまいりたいと思います。今後もご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

児童養護施設

花ホム 今年度の花ホムは、幼稚園児三名、小学生四名、高校生三名の十名で構成されています。しかし、週末のトワイライトステイ受け入れや一時保護人もあり人数が少ないながらも賑やかな日々を送っています。

幼稚園児は園生活にも慣れた様で行事のたびに少しずつではありますが成長を感じている事も多くなりました。小学生は前年度と同レベルですが些細な言い合いはありますがお互いに気にはなるようでそれなりに仲良く過ごしています。夏休みの宿題は去年の反省を生かし



計画的に予定を立て取り組んだところ早めに終わる事ができました。やはり出来る！

高校生名は十一月に技能競技全国大会に出場予定で「絶対優勝目指す」と張り切っています。精一杯頑張るよう励ましています。

夏休みはプールや海水浴・キャンプと夏ならではの行事を堪能できました。かき氷を作る時も好みのシロップを選び楽しみました。唇や舌を色とりどりにして。

海ホム 今年度の海ホムは新体制となり中高生男子のみに加え、職員も男ばかりでスタートしました。子ども達は「ちびがおらんて静かになつて嬉しい」と言いながらも最初のうちは静かすぎて戸惑う姿も見られました。今ではゲームをしたり、映画を一緒に観たりして楽しく過ごしています。今後の学院行事、地域行事なども積極的に参加し、男気全開で盛り上がりたてたいと思っています。



また、高校三年生名、中学三年生名は人生の大切な選択の時期を迎えています。それぞれが願った進路になるよう、ホム職員も含めた全ての職員が応援しています。この夏は、海水浴、キャンプなど楽しむことが出来ました。盆には卒院生も加わり、中庭でバーベキューもしました。暑い中よく頑張っていました。「文武両道」を目指し、強く逞しく育って欲しいと思っています。

月ホム 今年の月ホムも、幼児さんから中学生のホムとなっています。今年度は、新入学生はおらず、みんなつお姉さんになりました。少しメンバー編成は変わりましたが、雰囲気そのまま、それぞれがマイペースで過ごす日々です。思春期がちょっと落ち着いた中学生。思春期に入り始めた高学年の小学生。またまたお姫様に憧れる小さな女の子たち。色々ありますが、職員含めて女子力あけて日々精進しています。

そうして気付けば、もう9月です。気温も熱く、気持ちも熱い夏！出かけて遊んで、たまに勉強！結果、最後は勉強に追



われて職員も悲鳴をあげることに：プールは台風で延期して、キャンプは土砂降りの中でバーベキュー、学院盆踊りも恵みの雨でした。それでもお祭り、プールのリベンジ！天気予報とにらめっこしながら楽しみました。次はみんな何しよう？雨でも晴れでも曇りでも！毎日、楽しい月ホムでいたいのです。

鳥ホム 今年の鳥ホムメンバーは中学生三名・小学生五名・幼稚園児四名・未就園児一名！想像してみてください。大騒ぎです！

例えば、食事の準備が出来ました。「テーブルについていただきます。するよ」と声を掛けたりつきます。「○○がスプーンこぼしたよ」「あー！箸が落ちた」「おしーこー」こんな様子で食事までも時間ががかります。そんな時でも、鳥ホムの中学生は笑ってくれています。職員（私だけ）のほうがかかりしてしまい反省です。



夏休みは、色々な行事を通して成長を見る事が出来ました。お手伝いもしつかりしてくれ感心です。学習も一名を除き計画的に進める事が出来ました。特に中学三年生は机に向かう時間が増え自分なりに努力をしています。いつも大騒ぎで時間追われていた鳥ホムですが、子ども達は逞しく成長しています。職員も余裕を持ち温かい目で支援したいと思っています。

風ホム 今年の風ホムは、中学生2名・小学生7名・幼稚園児1名・職員4名です。人数は少ないのですが、一人一人がとても個性豊かなので、毎日とてもにぎやかです。4月に1名入学、9名進級し、新しい環境に慣れるまで時間がかかる子もいました。今では登校前の準備や宿題を終わらせるのもだんだんと早くなりました。

今年の夏休みは、海水浴、川遊び、お祭り、キャンプ等たくさん思い出ができました。夏と言えば：花火、スイカ、



日焼け、ラジオ体操！たくさん夏を感じる事ができました。しかし夏休みはたのしい事はかりではありません。たくさん宿題がありました。夏休み前半にサツと終わらせる子、自分のペースで終わらせる子、中には終わらずに涙に泣き止む子が机に向かう子もいました。それも思い出ですね。今年度も残り半分。たくさん思い出を、風ホムみんなで作っていきましょう。

乳児院

乳児院では、4月から6月にかけて、少人数に分かれ福岡の「アンパンマンミュージアム」に出かけました。

初めて見る大きなアンパンマンのキャラクターを見て泣きたず見ましたが、館内の乗り物や遊具を何度も繰り返し楽しめました。参加型のショーでは自らすすんで輪の中に入ってアンパンマンと踊ったりと、興味のまま自由に動き回り、楽しい時間を過ごしました。

7月9日には、下関市民会館で行われた「アンパンマンミュージカル」を観に行きました。舞台上に釘付けで、登場するアンパンマン、バイキンマン、ドキンちゃん等を指差し名前を呼んだり、拍手したりと興奮気味にワクワクしながらライブまで楽しむことができました。

その他、この夏も海水浴や院外での水遊び、お祭り等レジャーも満喫し、大満足の子ども達でした。



そよ風

10・11月の台風シーズンのこの時期は、保護者は進路や、事業所の選択で悩んだりする時期でもあります。

少ない集団で伸びてきた生活能力は、幼稚園や保育園の大きな集団の中でやっていけるだろうか。また、新しく入所してくる幼児・児童は、そよ風の生活にうまく適応できるだろうか。様々な悩みを持ちつづくの見学者があります。

そよ風の職員は、ひとりひとりの悩みに寄り添い、相談したり、必要な情報をお話ししたりして少しでも安心してもらえるように務めています。

紙風船

紙風船では、夏休みに深坂自然の森で指導員をされている下田裕先生を講師として招き、地域のこどもたちを集め、彦島公民館で工作教室を行いました。

今年は彦島の各小学校より32名の子どもたちが参加してくれ、焼き板に挑戦しました。板をたわしで擦り、好きな飾りつけをしたり、絵を書いたり、字を書いたり、それぞれ工夫して作成する事が出来ました。慣れないグーガンを使い、最初は戸惑っている子どももいましたが、慣れると次々に飾りつけをし、



新任職員のコト

畑村 恵 (乳児院)

子ども達とのふれあいの中で多くの事を学んでいます。これからも笑顔とたづのりの愛情を持って頑張ります。

佐伯恵梨紗 (乳児院)

子ども達と笑顔で関わることを意識して頑張っています。子ども達と一緒に日々成長していきたいです。

月俣 優佳 (乳児院)

働きはじめて半年がたち、仕事にも慣れてきました。これから子どもと関わりながら頑張りたいと思います。

勝山 汐 (乳児院)

個性豊かな子ども達の気持ちを大切に成長をそばで感じることができるとてもやりがいがあります。

谷本真太郎 (児童養護施設)

私のモットーは「人にやさしく」です。どんな状況でも「やさしさ」を忘れず精進していきたいと思っています。

永田愛香 (児童養護施設)

4月から、なかべ学院で働かせて頂いて、毎日子ども達から刺激をもらいながら、過ごしています。

【寄附寄贈】

平成28年10月～平成29年8月

たくさんの方々の皆様の支援に心から感謝申し上げます

- 寄贈
 - アトリエ心
 - 農林中央金庫
 - 久坂七ツ
 - フードバンク山口
 - 合同会社こいな
 - 佐藤孝江
 - 常関孝内田哲司
 - 亀山八幡宮
 - 大正正人
 - 福川太二西村男
 - センイレフ福浦河野清志
 - 張山由加
 - 日高敦子
 - 宮下弘
 - 堤好男
 - 鳥山祐子
 - 川崎さおり
 - 下本云
 - 田邊容子
 - 株式会社オイスレシンド
 - 全国シンメリー協同組合
 - 中村精治
 - 匿名
 - 楽天株式会社CR部
 - 表田幸雄
 - ㈱アパシヨブネットワーク
 - リビングデザインビス
 - 渡利泰子
 - 日本鏡餅組合
 - 太古窯 白石家門
 - 坂口明
 - ㈱寿工務店
 - NPO法人ふるさと山口経営者フォーラム
 - 山口整形外科
 - 星本武志
 - ビアハート東條
 - 歯科医院匿名
- 奥山秀明
- ほつとも
- 蟹屋
- 門司徹
- 太刀山逸男
- 公益財団法人 中部財団
- 株式会社ゆづり銀行広報部
- 上野妙子
- 佐久間
- 黒瀬愛奈美
- 藤永健一
- 山口新聞東京支社
- 原口博美
- 澤原勝也
- 中村康之
- (南)玉川文具
- 西本高連道路メンテナンス中
- 国保 下関保全事務所
- 〆チナンス㈱センター長大坪力
- 在日本朝鮮人聴聞合會山口県下関支部
- ㈱ブルーメ美容室fuhoh
- 石村寛行美恵子
- 海響館はじめ
- 下関市園芸センター
- 株式会社Wホールディングス
- 大興産業㈱リツツ下関
- (R)C 下関地区青少年赤十字社会財団法人毎日新聞西部社会事業団
- 山口県弁護士会
- 山口合同ガス㈱
- 日本料理つか佐
- 志村福一
- クオハウスローコストプロジェクト
- (南)タカシバシヤウテラク
- 国際ワフプロミスト東下関
- 独立行政法人国民生活センター
- プレムラワット日本事務局

- 中村靖子
- 畑村恒
- 赤間博宮
- フードバンク下関
- (南)魚工房鮮福
- 道辻慎久
- ㈱エトロースタジオ
- 高橋清美
- 奥の武おのの家
- まりちゃん
- 小野茂子
- ミルクフーズ
- NPO法人NOふらっとホーム
- 社会福祉法人毎日新聞西部社会事業団
- 安達俊雄子
- ㈱ブランドゥ
- 東海林拓也
- 中尾清
- 大和育子
- 山口県立中央工業高等学校
- 山口県立下関工業科高等学校
- 日本缶詰びんど食品協会
- コンビネクス
- 一般社団法人日本レコード協会
- (南)大平産
- ㈱エストラスト
- 榎克己
- 木上幸子
- 古谷建二
- 夢の会
- カンティナラガツア 石田美鳥
- かにの集い
- 関門港湾建設㈱清原生郎
- NPO法人ふるさと山口経営者フォーラム
- 南坂本建設
- 角倉町自治会
- 大和育子
- 佐藤久美
- 下関大丸百貨店労働組合
- 西日本道路ファーマリテイズ
- ㈱北九州保全事務所同
- NEXCO西日本グループ同
- フラナ美容室fuhoh
- 松本征一
- ㈱カワチ川口男
- 戸倉淳
- 山口洋部
- 梅光学院中学校高等学校
- 三井化学労働組合山口支部
- 下関支部
- 国広モータース
- 下関商工会議所女性会
- 古賀敬章
- 下関市成人の日記念事業実行委員会
- オペラミュージック・トリレンジンド
- 安井弘照
- 栗田幹雄
- 宇部魚市場㈱
- 藤田昌雄
- 匿名
- 塩屋康子

- 南小見山設備
- 植田美知子
- 中村清治
- 中村勝裕
- 中村仁志
- プチラベーカー内藤加奈
- 中部少年学院後援会
- 下関交通指導員会
- 山口洋部
- ㈱ものはく
- ㈱カワチ川口男
- 剣持研治
- 岸本真知子
- ㈱カワチ川口男
- 山口県遊技業協同組合
- 七十周年寄附
- 八十余名の方よりご寄付をいただきました。

保護司活動で活躍

寺田 弘

女優としても舞台女優としても円熟期に達していた木暮に、東京大田区から保護司の依頼がきた。保護司とは法務大臣から委嘱された民間のボランティアで、身分は非常勤の国家公務員である。

彼女の保護司活動の第二号は、社会復帰して三年半たったM氏であった。彼は大蔵省の事務官として某県の税務署勤務中に起こした義母殺害によって、十年の刑の服役をすませた人だった。

途中弁護士にならなくて無事合格したのだが、上司の邪魔立てによって依願退官が許されず、いららしているときに妻の母親になじられ、思わずカッとなり尊属殺人を犯してしまったのだ。

木暮の動きは早かった。「是非、奥さんにお会い下さい。お子さんにもお会い下さい。躊躇する彼に代わって、母子の二十数回にもわたる住所変更を丹念に調査して、現住所をつきとめた。彼女は奥さんに会い説得した。「あの件には母にも責任があります。しかし、父親はすでに死んだと子どもたちに言いかせてあります。今更苦勞をなめさせた子どもたちにも会っていただいても、覆水は一」と、嗚咽するばかりだった。だが

事件当時九歳だった長男は、父親との再会を決意してくれた。「一緒にドライブをしなから、「お父さん」とも呼んでもくれた。このように、その後を受けた人々にたいしても木暮の社会復帰の援助は、すさまじいものだった。幼児期の脳性麻痺から目と耳の機能以外を奪われ、「瞬きの詩人」と呼ばれた水野源三の詩のように、心の底からわきあがる愛情を決して一人じめにしないかった。

愛を以て愛

水野 源三

遠い遠い目に 野辺に見た
あざみの花は
神様からの 恵みを愛に
一人じめにしないで
蜜蜂とわけ合い
喜んでいた 歌っていた
我が心よ
一人じめにしないで
一人じめにしないで
神様からの 恵みの愛を
神様からの 恵みの愛を



社会福祉法人 中部少年学院後援会
平成28年度 収支報告書

単位 円

項 目	決算額	予算額	差 引	摘 要
収入の部				
年会費	1,395,000	1,700,000	-305,000	団体(50) 550,000円 個人(265) 845,000円
寄附金等	27,990	-	27,990	
利息	71	300	-229	
当期収入計	1,423,061	1,700,300	-277,239	
支出の部				
事業費	354,785	461,000	-106,215	学院支援費 自動車免許取得費用(1人) 50,000円 高校生クラブ活動奨励費 30,000円 小学生スポーツ文化活動 100,000円 卒院祝金(2人) 20,000円 チャイルドライン年会費補助 12,500円 PAシステム・アンプ 110,808円
広報費	432,540	260,000	172,540	行事費 さつき祭材料費 31,477円 広報誌(そよかぜ) 38号 700部 130,140円 39号 1000部 302,400円
総務費	240,782	180,000	60,782	通信費(広報誌送料等) 42,282円 振込用紙印刷 4,000円 ハガキ等 14,500円 助成金 紙風船 100,000円 ふれあいステーション 30,000円 オレンジボン 30,000円 チャイルドライン 20,000円
雑費	5,700	20,000	-14,300	厳流杯寄附 3,000円 会議お菓子 2,700円
当期支出額	1,033,807	921,000	112,807	
当期収支差額	389,254	779,300	-390,046	
前期繰越金	3,318,683	2,648,105	670,578	
次期繰越収支差額	3,707,937	3,427,405	280,532	

社会福祉法人 中部少年学院後援会 様
平成28年度の収支について、上記のとおり報告いたします。

平成29年6月17日

社会福祉法人 中部少年学院後援会

会 計 小田 崇明(印)

監査の結果、上記のとおり整理されており正当と認めます。

平成29年6月17日

会計監査 小倉 國雄(印)

平 成 28 年 度 決 算 報 告

資 金 収 支 計 算 書

(自) 平成28年4月1日 (至) 平成29年3月31日

(単位 円)

勘 定 科 目	合 計	本 部	児童養護	乳児院	紙風船	そよ風
収入						
児童福祉事業収入	571,623,639		247,585,686	282,987,064	16,460,340	24,590,549
保育事業収入	0					
経常経費補助金収入	202,624		202,624			
経常経費寄付金収入	0					
寄付金収入	5,482,940	5,109,082	196,936	176,922		
雑収入	12,687,848	4,028,710	7,186,164	1,201,223	13,467	258,284
受取利息配当金収入	39,325	367	964	37,866	53	75
その他の収入	0					
経常収入 計	590,036,376	9,138,159	255,172,374	284,403,075	16,473,860	24,848,908
支出						
人件費支出	406,418,059	360,561	170,293,984	196,120,500	15,443,922	24,199,092
事務費支出	26,144,963	4,467,888	8,180,449	10,977,596	1,597,232	921,798
事業費支出	83,214,593		53,057,145	27,710,203		2,447,245
流動資産評価増等による資金減少額	563,806	55,593			450,357	31,784
借入金利息支出	39,562		39,562			
経常支出 計	516,380,983	4,884,042	231,597,212	234,808,299	17,491,511	27,599,919
経常活動資金収支差額①	73,655,393	4,254,117	23,575,162	49,594,776	△ 1,017,651	△ 2,751,011
収入						
施設整備等収入	510,000		510,000			
施設整備等支出	0					
設備資金借入金元金償還支出	5,232,000		5,232,000			
固定資産取得支出	1,030,000			1,030,000		
施設整備等資金収支差額②	△ 5,752,000	0	△ 4,722,000	△ 1,030,000	0	0
収入						
積立預金取崩収入	4,749,267		4,472,331	276,936		
拠点区分間繰入金収入	1,050,000				1,050,000	
その他の活動による収入	0					
積立資産支出	150,000,000		50,000,000	100,000,000		
積立金支出	0					
拠点区分間繰入金支出	1,050,000				1,050,000	
その他の活動収支差額③	△ 145,250,733	0	△ 45,527,669	△ 100,773,064	1,050,000	0
当期資金収支差額④=①+②+③	△ 77,347,340	4,254,117	△ 26,674,507	△ 52,208,288	32,349	△ 2,751,011
前期末支払資金残高⑤	162,884,267	12,025,674	57,352,565	85,824,845	4,537	7,676,646
当期末支払資金残高⑥=④+⑤	85,536,927	16,279,791	30,678,058	33,616,557	36,886	4,925,635

貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	104,002,515	流動負債	18,465,588
固定資産	1,330,508,060	固定負債	467,824,356
基本財産	619,383,017	負債の部合計	486,289,944
その他の固定資産	711,125,043	純 資 産 の 部	
		基本金	29,491,817
		国庫補助等特別積立金	419,538,326
		その他の積立金	294,000,000
		次期繰越活動収支差額	205,190,488
		純資産の部合計	948,220,631
資産の部合計	1,434,510,575	負債及び純資産の部合計	1,434,510,575

和の精神



理事長 石川 啓

啓さんの知恵袋

和とはお互いがそれぞれの務めを果たして心のつながりを保つことである。お互いに柔らかな心で向かい合い、それぞれの心を二つの方向に整えていくそんな状態が和である。

後援会加入のお願い

後援会事務局

法人年会費 1万円
個人年会費 1000円何口加入されてもかまいません。
お問い合わせはなかべ学院まで

TEL 083-266-1934

編集後記

「みんな、みなさんのおかげです。私のやって来た事は大したことではありません。又沢山の皆様から縁を頂きました。」とあくまでも謙譲の言葉を繰り返した。

これは「なかべ学院」の創立者小野倉藏先生の口癖でした。この言葉に小野院長の人柄が又陰徳陽報の精神が現れています。

私も創立者小野倉藏先生の創立の精神を忘れず大切な子ども達の生活を支援し、支え学院の運営に協力していきたいものです。

(太刀山 逸男)